

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 相談支援部会</p>	<p>【部会長】 地域生活相談センター シヤル 関口 篤行</p>
<p>1. 相談支援部会</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 第1回相談支援部会（4月25日開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 部会構成員</li> </ul> <p>全体会で意見があった当事者の部会参画について、市と検討の上6月以降の部会で検討することとなった。その他の委員は前年度と同じ。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ 運営方針</li> </ul> <p>(1) 市より次期ノーマライゼーションかしわプラン2021策定に向け、プランの柱について部会で提言して欲しいとあった。</p> <p>(2) 昨年度部会で検討したワーキンググループの設置に向け検討が必要。</p> <p>(3) 新規計画を作成できる事業所情報がなく、必要な方々をつなぐことが難しい。また立案に余裕のない事業所がある等の理由で、セルフプランが増えているため検討が必要。</p> <p>上記をふまえ本年度の相談支援部会では主に①ノーマライゼーションかしわプランへの提言②セルフプランの対応について③ワーキンググループの検討に取り組むこととした。なお必要な検討は随時行っていく。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>ウ その他</li> </ul> <p>非定型シートについて、相談員からの質問・意見を集約。回答は市から事業所にメールで配信する。</p> </li> <li>・ 第2回相談支援部会（6月25日開催） <ul style="list-style-type: none"> <li>ア 相談支援連絡会報告及びテーマについての検討</li> <li>エ（2）の通り。</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>イ ワーキンググループ</li> </ul> <p>(1) 委員は、7～8名程度で構成し、計画相談業務をしている相談支援専門員。自薦で募り、希望者が無い時は部会にて指名する。</p> <p>(2) 主に①基本相談支援、計画相談支援に関すること。②困難事例への対応のあり方に関する協議。③地域移行、地域定着に関すること。④その他必要事項は随時。について協議する。</p> <p>(3) 任期は1～2年を目安とし、開催頻度、その他運営については会長を選任しワーキングにて検討する。</p> <p>(4) 事務局は柏市基幹相談支援センター内に置く。</p> </li> </ul>	

(5) 7月連絡会で周知。8月部会まで委員募集。9月に初回開催を目標とする。

ウ ノーマライゼーションかしわプランの振返りと検証

(1) 次期プランに向け意見交換を行う。主な意見は次のとおり。

- ・相談支援専門員の人材確保、スキルアップを推進したい。
- ・成年後見制度利用促進について反映させたい。
- ・介護保険への移行について反映させたい。
- ・意思決定支援について反映させたい。

(2) 本件については8月部会以降も継続協議を行う。

エ 相談支援部会及び相談支援連絡会のスケジュール

(1) 相談支援部会のスケジュール

偶数月の第4金曜日を基本に開催。

(2) 相談支援連絡会のスケジュールとテーマ

回	日	主催	主な内容
1	4月19日	柏市障害福祉課	令和元年度 柏市相談支援体制について
2	5月17日	ぶるーむの風	地域生活支援拠点ぶるーむの風について
3	6月21日	権利擁護あさひ	「非定型」サービスについて～市・現場の相談員から～
4	7月12日	地域生活相談センター シヤル	訪問看護事業所との合同連絡会
5	8月16日	サポートセンター沼南	介護保険との引継ぎ

## 2. 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業

### ・コア会議（4月11日実施）

退院支援だけでなく、精神障害者が地域で暮らすための重点課題を今年度は検討する。協議会には、保健所、訪問看護連絡会、話題によってはクリニックや当事者等に参加してもらい、代表者会議に意見をあげる。

### ・実務者会議（5月22日実施）

今年度は包括や医療との関りを増やすべく、委員構成を変えた。ガイドラインに沿って、柏市の運営を進める。医療側、障害福祉側の課題出しをして、ノーマライゼーションかしわプランへ提言したい。実務者会議年6回、コア会議6回の予定。訪問看護の使い方の研修も企画したい。

### 【今後の活動予定】

1 障害者相談支援連絡会 毎月第3金曜日を基本に開催。

2 柏市精神障害にも対応した地域包括ケアシステム構築推進事業 2ヶ月に1度開催。

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 はたらく部会</p>	<p>【部会長】 よつば工房 室山 圭史</p>
<p>1 はたらく部会（第1回：5月29日）</p> <p>ア 今年度の運営体制</p> <p>①部会長に、よつば工房 室山氏が選任された。また、室山氏から一般就労連絡会の会長に、障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏 八木原氏、福祉的就労連絡会の会長に、わたの実 山本氏が指名された。</p> <p>②事務局について、はたらく部会は地域生活相談センター シャル、各連絡会は、障害者就業・生活支援センター ビック・ハート柏が担当する。</p> <p>イ ノーマライゼーションかしわプラン2021策定の基礎調査</p> <p>前回のアンケート用紙を参考にし、就労分野の基礎調査に関するご意見を頂いた。それぞれの設問について、より一層明確なデータがとれるよう、設問数・追加項目・削除項目・年代別データの抽出などについて意見が出された。</p> <p>ウ 今年度のテーマ</p> <p>今年度は、ノーマライゼーションかしわプラン2021に向けて、事業所の意見出しの場として各連絡会が機能し、部会をとおして自立支援協議会に提案していくことを目的とする。そのため、まずは昨年度抽出した課題を共有するとともに、今年度検討すべきテーマについて意見交換を行った。その中で、障害者の就職に対して門戸は広がっており、就職率より定着率の向上がキーになっているため、柏市として定着支援事業の在り方や進め方を話し合いたいとの意見や、事業所・行政・相談等の情報共有の仕方を検討すること、利用者の確保について在学学生や保護者のニーズを聞く場が欲しいとの意見が出された。</p> <p>2 一般就労連絡会（第1回：5月29日）</p> <p>ア ノーマライゼーションかしわプラン2021策定の基礎調査</p> <p>第1回はたらく部会の報告を参照。</p> <p>イ 今年度のテーマ</p> <p>引き続き、就職率や定着率をテーマとした方が良いのでは、という意見が多くあった。課題としては、兼任職員の負担軽減や、関係機関同士の引継ぎをどう進めていくか、生活面に対する支援力向上等があげられた。基調講演等の研修を設ける必要について検討中。また、4市合同企業セミナー</p>	

一の基調講演のテーマや演者について検討を進める

ウ 4市合同企業セミナー

準備委員として3事業所から有志者を募り、今年度のコンセプトや基調講演、企業見学の日程に関して意見を頂いた。

3 福祉的就労連絡会（第1回：6月26日）

ア ノーマライゼーションかしわプラン2021策定の基礎調査

第1回はたらく部会の報告を参照。

イ 昨年度の振り返りと本部会の共有

各事業所の取組みと課題について共有。利用者・保護者のニーズに変化がみられること、通所日数や作業能力の幅が大きいこと、利用者の高齢化などの課題がみられる。また、外部の受注作業や自主製品を持っている事業所よりも、内職作業中心の事業所は工賃向上に結び付きにくいことや、全体的なマンパワー不足について意見があがった。ほか、工賃・賃金の設定方法や留意点について共有を行った。

ウ 今年度のテーマ

引き続き、工賃向上をテーマとする。工賃向上を目指す中での支援方法や高齢化・能力の幅による作業の割り振り方法などの課題があるため、連絡会をとおして情報交換を行っていく。

エ ものづくりマルシェについて

今年度は、令和元年12月6日（金）9時～16時に実施予定。

【今後の活動予定】

1 はたらく部会

・第2回：9月25日、第3回：令和2年2月12日

2 一般就労連絡会

・第2回：7月31日、第3回：11月27日、第4回：令和2年2月4日

・4市合同企業セミナー

令和2年2月7日、流山市にて実施。第1回4市合同セミナーに向けての準備会を7月24日に開催予定。

3 福祉的就労連絡会

・第2回：10月30日、第3回：令和2年1月29日

・MONOづくりマルシェを令和元年12月6日に開催予定。

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 こども部会</p>	<p>【部会長】 社会福祉法人桐友学園 新福 麻由美</p>
<p>1 6月10日に第1回こども部会を開催。</p> <p>(1) 年間スケジュールの確認</p> <p>(2) 行政報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・障害児通所支援や相談支援の利用者数等について</li> <li>・ノーマライゼーションかしわプラン2021策定のための基礎調査について</li> <li>・千葉県から柏市への権限移譲について</li> <li>・放課後等デイサービスの指標該当認定について</li> </ul> <p>「セルフプラン増加について柏市の対応」</p> <p>→児童については、急ぎでサービスを使いたいため初回は取り急ぎセルフで提出される方が多い。ただ、相談員を付けるように案内しており、相談支援事業所の一覧をお渡ししている。更新時期前には再度案内しているが、相談事業所が混んでいること、保護者の意向により相談員を付けないこともある。</p> <p>「基礎調査について」</p> <p>→前回調査との比較が重要。小学校と特別支援学校小学部、中学校と特別支援学校中学部の比較ができるところも意義深い。各自持ち帰り、意見があれば事務局、柏市に個別に連絡する。</p> <p>「千葉県から柏市への権限移譲について」</p> <p>→指標の該当認定については、当事者が知らないことは問題だと感じる。</p> <p>→柏市の判定が妥当なのかどうか、国が公表した平均と比べて検討してほしい。</p> <p>「放課後等デイサービスの指標該当認定について」</p> <p>→今まで実施されていた県の指導では、担当者ごとに解釈の違いが起きている。柏市に権限移譲されたので、今後は統一した指導を行って欲しい。</p> <p>(3) 地域生活支援拠点運営協議会の報告</p> <p>(4) ワーキングチームについて</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・事業担当者会議 昨年同様、放課後等デイサービス事業所にお集まりいただき、年3回実施。第3回目は相談支援事業所と合同開催する。</li> <li>・早期支援担当者会議（2を参照）</li> <li>・児童発達支援事業所連絡会（3を参照）</li> </ul>	

- (5) こども部会、事業担当者会議等の議題について
- ・相談支援事業所とサービス提供事業所の情報共有について毎月求められているが、事業所ごと実施の有無、形式等が統一されていない。情報共有の運用について一定のルールを作れないか。
- 相談支援部会と話し合う
- ・情報提供の充実化がノーマライゼーションかしわプランに含まれているが、もっと当事者に沿った内容を公表してほしい。サポートファイルの周知もoshi。情報提供をお願いしたい。

2 5月22日(水)に第1回早期支援担当者会議を開催。

- (1) 巡回支援について(柏市障害児等療育支援事業)
- (2) サポートファイルについて
- (3) 児童発達支援事業所連絡会について

3 6月5日(水)に第1回児童発達支援連絡会を開催。

- (1) 事業所の課題や困っている事について
- (2) 連絡会で取り上げて欲しいテーマについて
- (3) その他

サポートファイルについて

こども発達センターからのアンケートのお願い

#### 【今後の活動予定】

1 こども部会

- ・第2回 10月 9日(水) 10時～12時

2 事業担当者会議

- ・第1回 7月 2日(火) 10時～12時
- ・第2回 9月10日(火) 10時～12時
- ・第3回 12月 6日(金) 10時～12時(相談支援連絡会と合同開催)

3 早期支援担当者会議

- ・第2回 7月24日(水) 15時半～17時 (第5回まで実施予定)

4 児童発達支援連絡会

- ・第2回 10月25日(金) 14時～15時半

柏市自立支援協議会 全体会 部会報告シート

<p>【部会名】 くらし部会</p>	<p>【部会長】 社会福祉法人 彩会 平山 隆</p>
<p>1 第1回くらし部会（令和元年5月14日開催）</p> <p>（1）平成30年度部会の振り返り（昨年度の検討事項について柏市より報告）</p> <p>①移動支援の支給量の支給量、単価について</p> <p>居宅支援を上限60時間から80時間に上げてほしい。移動支援の単価が低い ため、全員が「身体介護あり」として認定してほしい。</p> <p>（回答）日中一時支援を含め移動支援は他市に比べてバランスが悪いことは認識 しているので、通学通所、グループ支援等ご要望については検討したい。今年度 から標準支給量を超えた支給については審査会をとおすこととなったので真に必 要なことに関しては適正に支給決定したい。</p> <p>②人材確保</p> <p>外国人労働者についての情報提供、就職フェア等の開催をしてほしい。シルバ ー人材の活躍と育成、母子家庭、生活困窮者、触法者、精神障害者等に対し、資 格が取りやすいような仕組みやヘルパー、働きやすい取り組みができないか。</p> <p>（回答）就職フェアを10月19日（土）に開催予定。シルバー人材は福祉政策課 と、母子家庭はこども福祉課、ハローワークと連携しており、サポート体制は出 来ている。</p> <p>③研修助成</p> <p>医療的ケアの3号研修について事業所への助成がほしい。</p> <p>（回答）医療的ケアの3号研修について、費用助成を他市の状況を調べ、情報収 集をしているところ。可否についても検討中。</p> <p>④グループホームについて</p> <p>グループホーム等支援ワーカーの配置が必要。行動障害の方や身体障害の方の 受け皿が少ない。</p> <p>（回答）グループホーム等支援ワーカーの配置については、必要な業務内容を調 査し検討している。身体障害や強度行動障害のグループホームが少ない事は市も 課題として認識している。</p> <p>（2）ノーマライゼーションかしわプラン2021策定のための基礎調査について （柏市より報告）</p> <p>調査内容は、平成28年度調査と大きな変更はせず比較ができるようにしたい。 当事者団体や事業所のヒアリングも前回同様行う。ご希望のあった事業所のアン ケートは実施が難しいので、ヒアリングを充実させる予定。</p>	

(3) 年間スケジュールの確認

(4) 部会、連絡会の議題について

- ア 居宅支援連絡会：在宅支援の事例、看取りの実例、在宅医療・訪問看護との連携について取り上げてほしい。
- イ グループホーム等連絡会：グループホームの運営状況の報告

(5) その他

今年度も柏市グループホーム・知的障害者生活ホーム事業者情報シートの作成を行い、発行する。

2 第1回居宅支援連絡会（令和元年6月13日開催）

(1) 第1回くらし部会報告（昨年度の振り返り） 上記を参照

(2) 今年度のスケジュール確認、議題の検討

今年度は事例研修をメインで考えている。支援していて困ったこと、課題、良かったこと等を検討したい。

(3) グループワーク（事例検討）

【テーマ】身体障害者の居宅支援

主な意見は以下の通り。

- ・本人、親の高齢化により先の見えない不安があるが、親が元気うちに親亡きあとを考えることが必要。
- ・高齢者は看取り加算があるが、障害分野は加算がなく、制度設計がなされていない。契約する事業所も看取りまでを考えていないこともある。
- ・標準支給量を超えたケースは文章だけで審査するのではなく、現場を見に来てほしい。

【今後の活動予定】

1 くらし部会

- ・第2回 8月7日（水）10時から12時
- ・第3回 令和2年1月16日（木）10時から12時

2 グループホーム等連絡会

- ・第1回 7月17日（水）10時から12時
- ・第2回 10月25日（金）10時から12時 相談支援連絡会合同開催
- ・第3回 12月10日（火）10時から12時 松戸圏域合同開催

3 居宅支援連絡会

- ・第2回 9月12日（木）10時から12時
- ・第3回 11月20日（水）10時から12時



柏市自立支援協議会 全体会 連携機関報告シート

<p>【連携機関名】 柏市障害者差別解消支援地域協議会</p>	<p>【事務局担当】 障害福祉課</p>
<p>1 第1回（6月21日開催）</p> <p>ア 議題</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年度障害者差別相談受付状況の報告について</li><li>・差別解消に関する啓発活動について</li><li>・その他</li></ul> <p>イ 協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・平成30年度差別相談について相談受付状況（4件）について報告し、問題の共有を図った。</li><li>・啓発活動について、平成31年2月に内閣府と柏商工会議所で開催した障害平等研修の報告及び今年度の啓発活動について検討した。</li><li>・ノーマライゼーション柏プランアンケートについて事業調整担当より説明。</li></ul>	
<p>【今後の活動予定】</p> <p>第2回は11月8日（金） 14時から開催予定</p>	

**柏市自立支援協議会 全体会 連携機関報告シート**

<p><b>【連携機関名】</b> 柏市障害者権利擁護ネットワーク会議</p>	<p><b>【事務局担当】</b> 障害福祉課</p>
<p>1 第1回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議（6月21日開催）</p> <p>ア 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度柏市障害者権利擁護ネットワーク会議活動方針について</li> <li>・障害者虐待の通報・届出の受付状況について</li> <li>・障害者虐待対応の検証について</li> <li>・その他</li> </ul> <p>イ 協議内容</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年度障害者虐待通報・届出状況を報告し現状の共有を図った。</li> <li>・令和元年度障害者虐待ケース内容の共有と2ケースについて検証を行い、課題の抽出及び今後の方針について検討を図った。</li> <li>・その他においては、各障害の当事者ヒアリングを令和元年6月15日に実施したことから報告を行った。委員の皆様より、今後も継続して当事者の声を聞き取った方が良く、意見を集約してまとめてほしいとの意見が挙がったため、今後も当事者の声を吸い上げる取り組みについて検討していくこととなった。</li> </ul> <p>ウ 権利擁護研修について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・令和元年7月17日（水）午後2時から「障害者虐待防止について」をテーマに福祉サービス事業所新任職員を対象として入門編研修会を実施予定。</li> </ul> <p>エ 今後の予定</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・第2回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議 令和元年11月8日（金）</li> <li>・第3回柏市障害者権利擁護ネットワーク会議 令和2年2月6日（木）</li> </ul>	
<p><b>【今後の活動予定】</b></p> <p>障害者虐待案件の検証及び障害者の権利擁護について検討していく。更に当事者の声を吸い上げる取り組みについて検討を重ねていく予定。</p>	

柏市自立支援協議会 全体会 連携機関報告シート

<p>【連携機関名】 柏市障害児等医療的ケア支援連絡会</p>	<p>【事務局担当】 社会福祉法人ぶるーむ ぶるーむの風相談室 後藤 慎也</p>
<p>○ 全体会 第1回…2019年6月27日開催</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事務局を障害福祉課からぶるーむの風相談室に移管</li> <li>2. 座長：ぶるーむの風相談室 後藤 副座長：たんぼぼセンター 大久保 氏</li> <li>3. 【障害福祉課より】次期ノーマライゼーションかしわプラン策定に向けたアンケート調査等について</li> <li>4. 【児童生徒課より】学校における医療的ケア実施に係る体制整備に向けて</li> <li>5. 昨年度までの取り組みと、今年度の重点項目の確認             <ol style="list-style-type: none"> <li>① 医療的ケアに対応可能な従事者を増やす取り組みについて 下記ワーキンググループでの議論を踏まえた意見交換</li> <li>② 医ケア児の通学保障について 他自治体の事例紹介を踏まえ現状の整理</li> <li>③ 普通学級、幼稚園／保育園等の医ケア児受入れについて 議題4. について、児童生徒課 福島 委員より、文科省から示されている「医療的ケア運営協議会」の実施に当会を活用したいとのご提案があり、承認。</li> </ol> </li> <li>6. 「医ケアママサロン」の開催について 医療的ケア児を育てる母親の交流、情報収集の機会として、ぶるーむの風相談室とたんぼぼセンターが共催し、7月より月1回開催</li> </ol> <p>○ ワーキンググループ発足 主に上記の議題5. について、実際に支援を行っている現場スタッフが集まり、実現可能な制度のあり方等について協議する。 2019年6月20日にプレミーティングを実施。今後定例で開催する。</p> <p>○ コアメンバー会議 全体会前に、ワーキングでの協議内容整理と全体会での議題確認を行う。今年度第1回は2019年5月10日に開催。</p>	
<p>【今後の活動予定】 連絡会（全体会） 第2回 2019年10月24日（木）14:00～ 第3回 未定（2020年2月中を予定） コアメンバー会議 全体会開催前に開催予定 ワーキンググループ 隔月開催予定</p>	

柏市自立支援協議会 全体会 連携機関報告シート

<p>【会議名】 柏市地域生活支援拠点運営協議会</p>	<p>【報告者】 障害福祉課 長谷川</p>
<p>1 活動状況</p> <p>(1) 第1回柏市地域生活支援拠点運営協議会の開催（令和元年6月5日）</p> <p>2 第1回協議会の内容</p> <p>(1) 議題</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点に期待すること</li> </ul> <p>(2) 協議内容</p> <p>ア 地域生活支援拠点ぶる一むの風近況報告</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成31年4月1日に開所した。</li> <li>・日中は診療所に医師が常駐しており、フットワーク良く対応できている。</li> <li>・短期入所は2か月前から予約を受けているため、6月より利用開始している。</li> <li>・未就学児も利用可能なため、随時相談して欲しい。</li> </ul> <p>イ 柏市の拠点の進め方について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・柏市地域生活支援拠点の運営の進め方（ガイドライン）素案に基づき、松井会長より説明。</li> <li>・拠点のパートナーとして、地域包括支援センターを意識している。</li> <li>・4拠点それぞれの強みもあるため、そこを活かしながらこれまで以上に拠点同士で連携を取っていく。</li> </ul> <p>ウ 拠点に期待すること</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・市と拠点との個人情報の共有化については長期的な計画になる。介護保険制度のシステムについて情報収集し、計画的に進めていく。</li> <li>・緊急時の支給決定、一時介護料助成の拡大については課で検討する。</li> <li>・緊急の定義は拠点との話し合いを重ね、検討する。</li> </ul> <p>エ 拠点の周知について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・拠点の存在を知ってもらうため、ホームページを作成している。 （パンフレットに基づき、大久保氏より説明）</li> <li>・協議会にて承認を得たため、随時ホームページに掲載予定。</li> </ul>	
<p>3 今後の活動予定</p> <p>第2回：10月23日（水）開催予定</p> <p>第3回：令和元年2月に開催予定</p>	